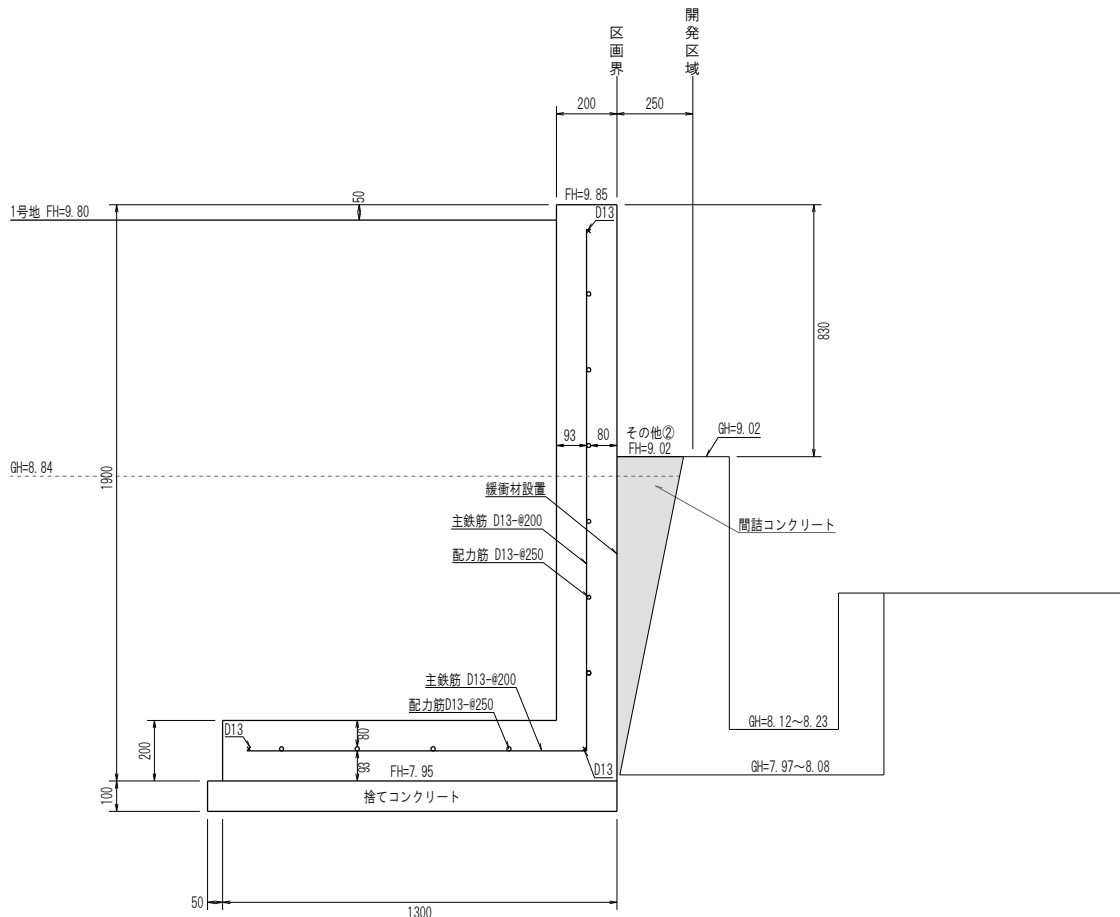


設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

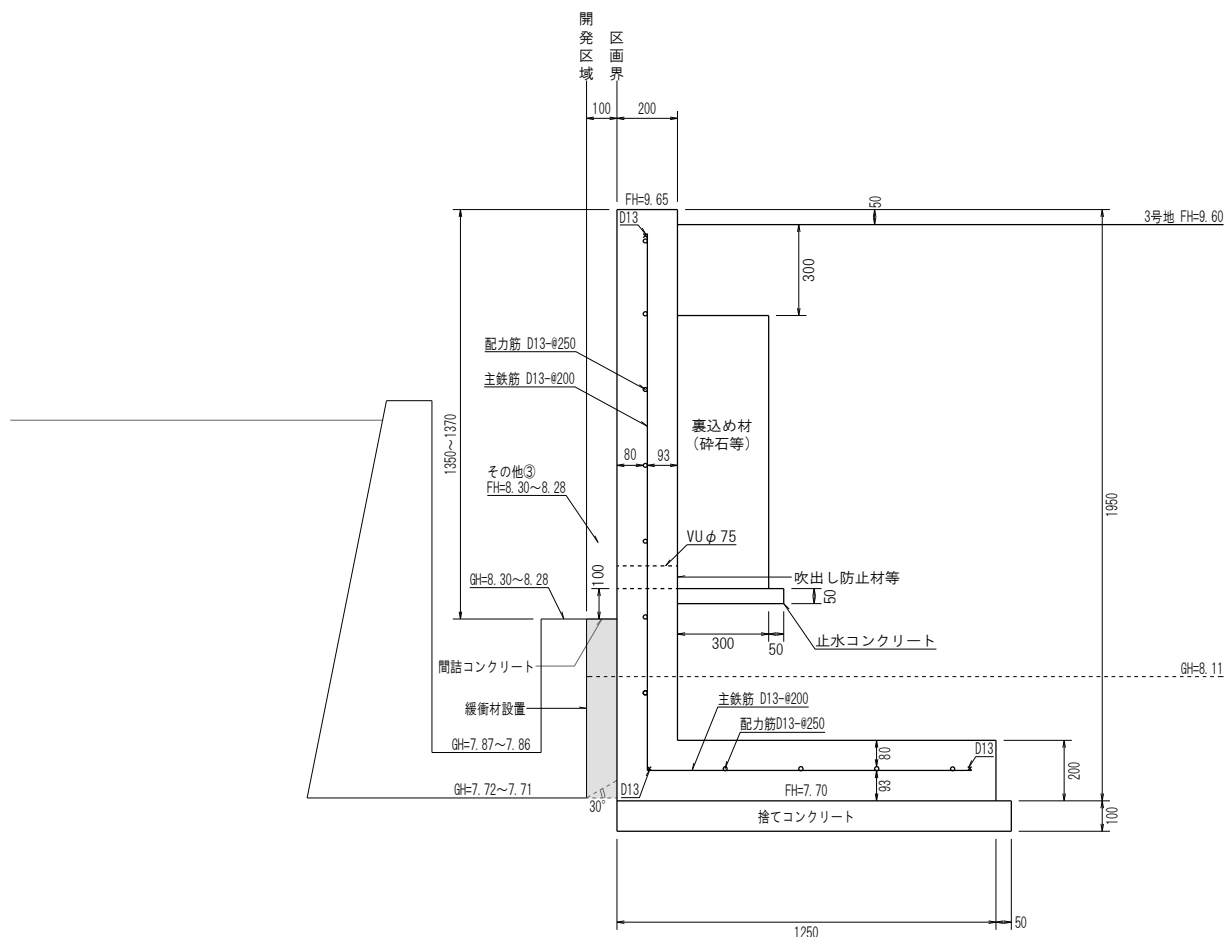
図面名	構造図(L型擁壁①)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-φ800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

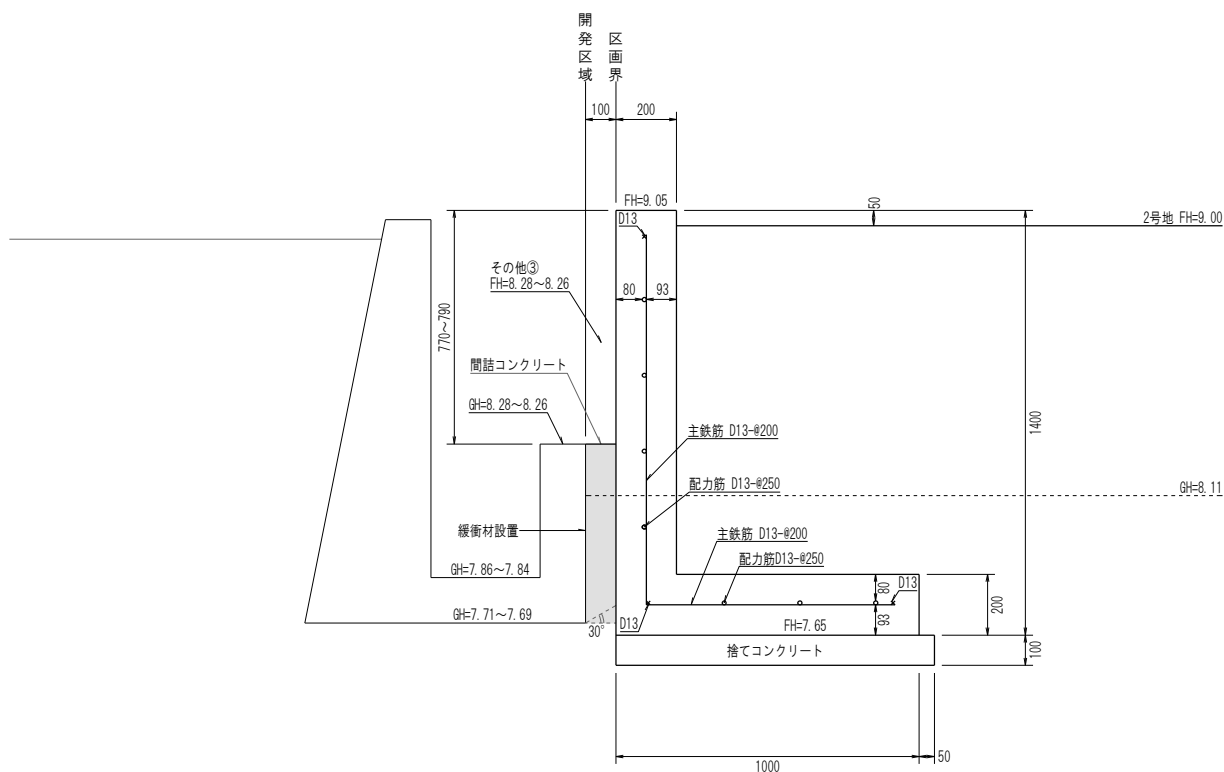
図面名	構造図(L型擁壁②)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-φ800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

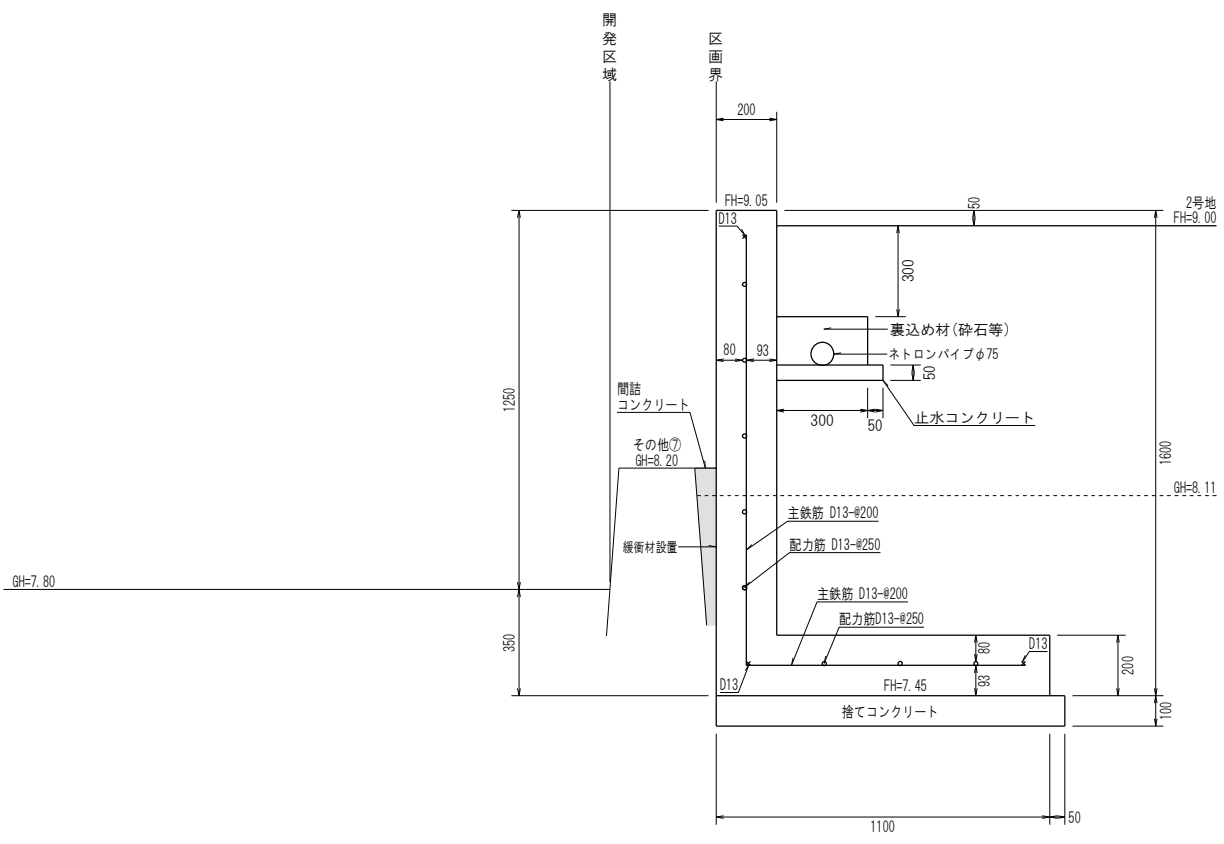
図面名	構造図(L型擁壁③)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-#800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

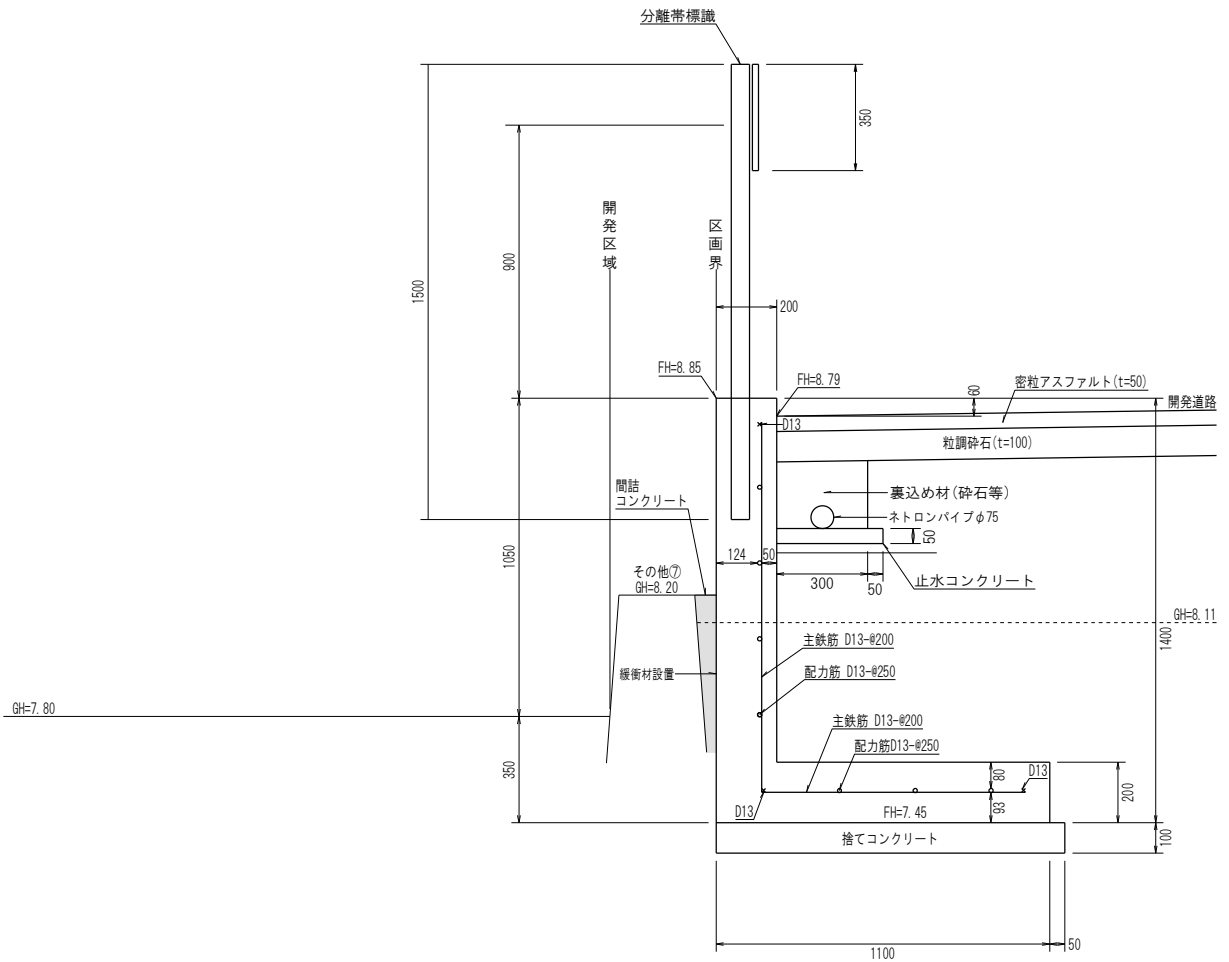
図面名	構造図(L型擁壁④)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

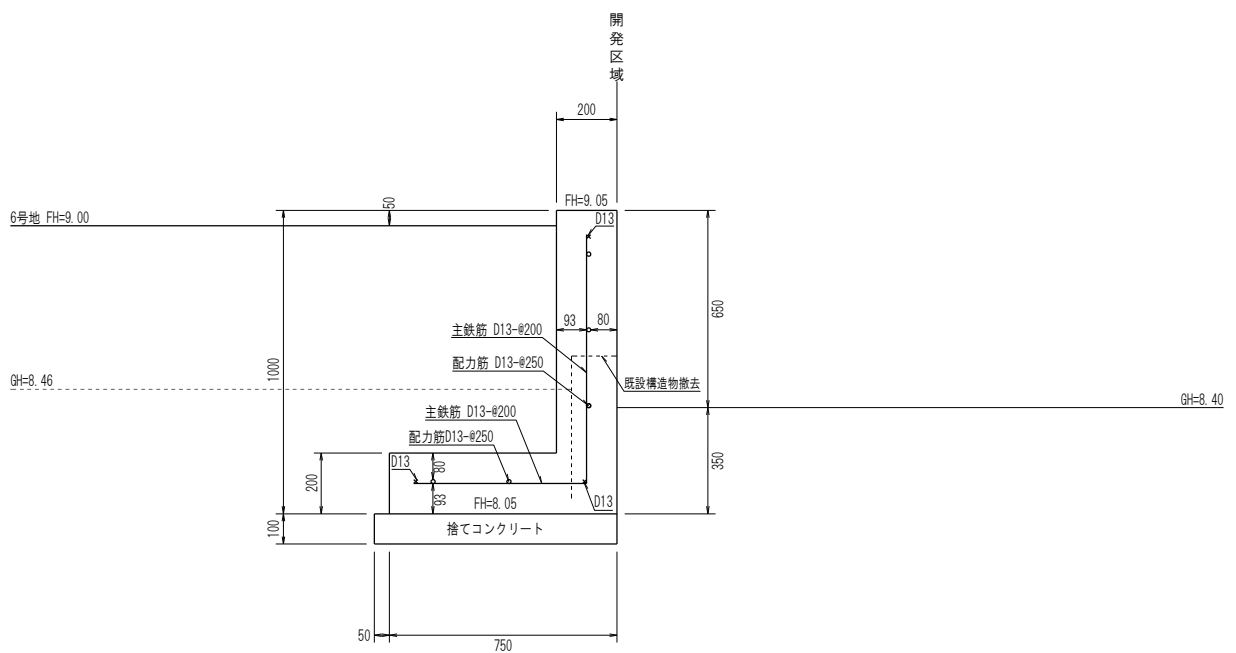
図面名	構造図(L型擁壁⑤)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

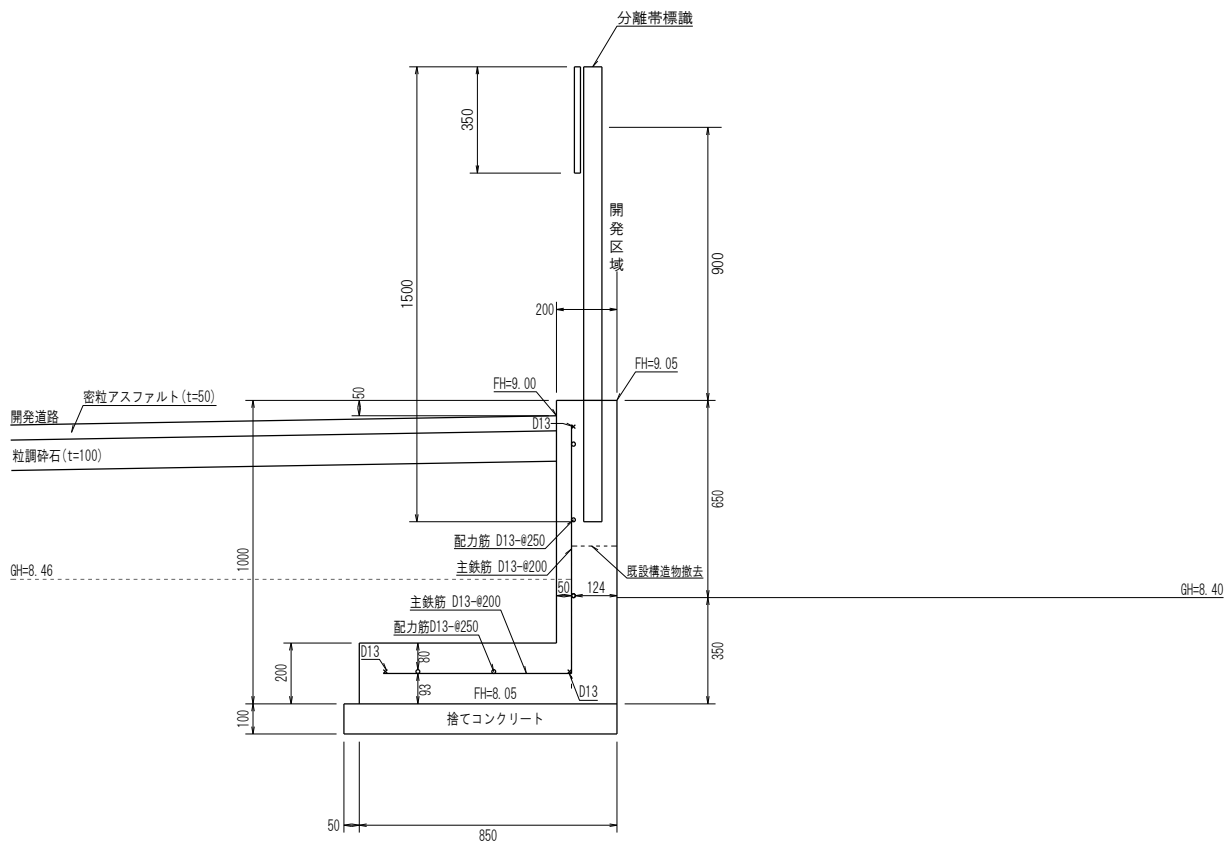
図面名	構造図(L型擁壁⑥)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

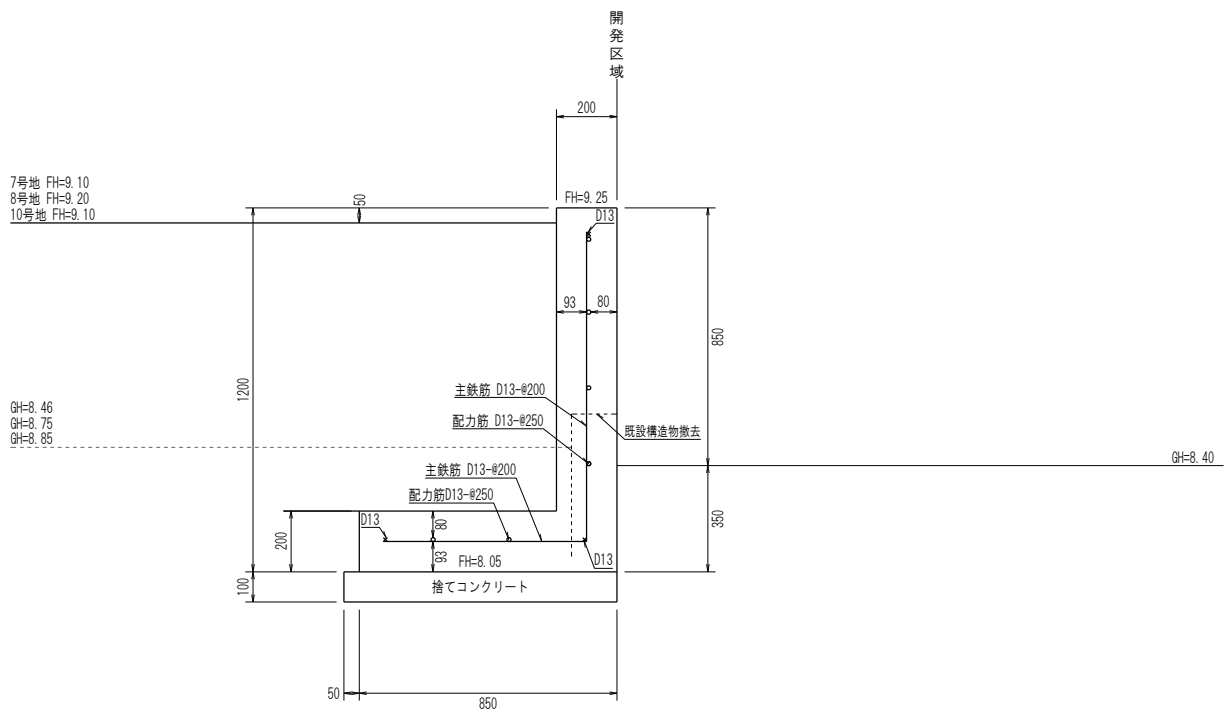
図面名	構造図(L型擁壁⑦)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

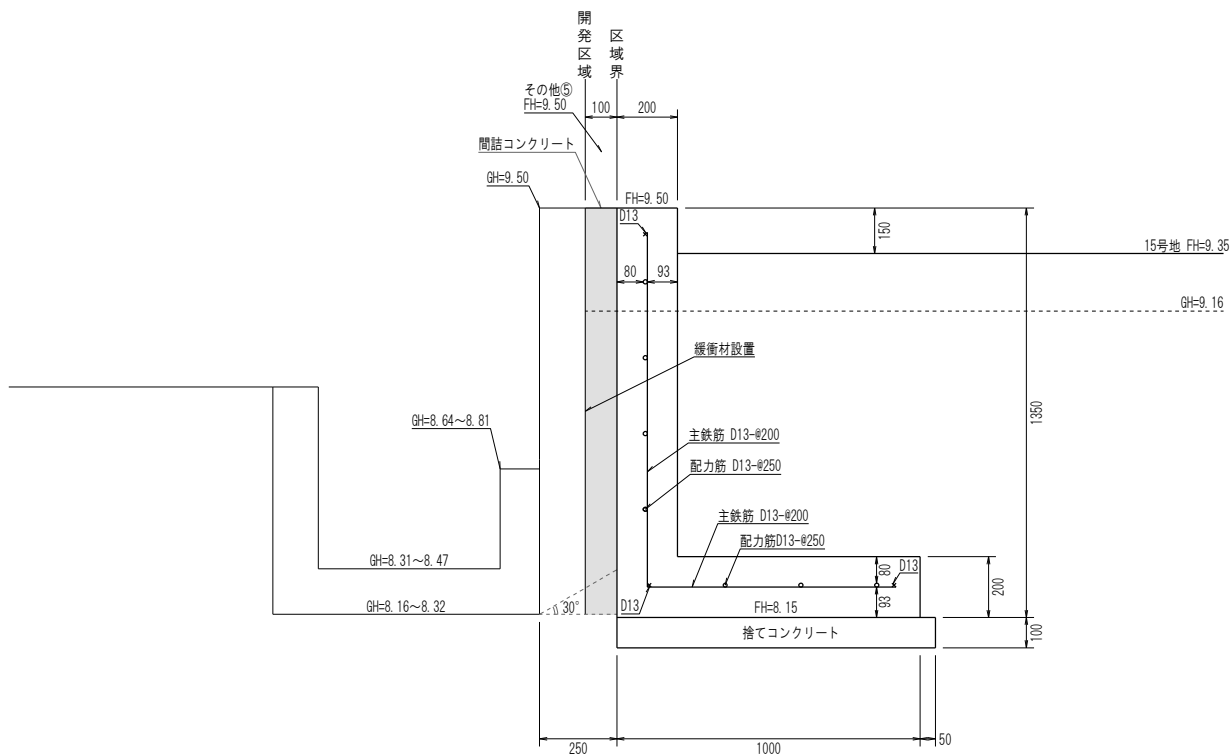
図面名	構造図(L型擁壁⑧)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-φ800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

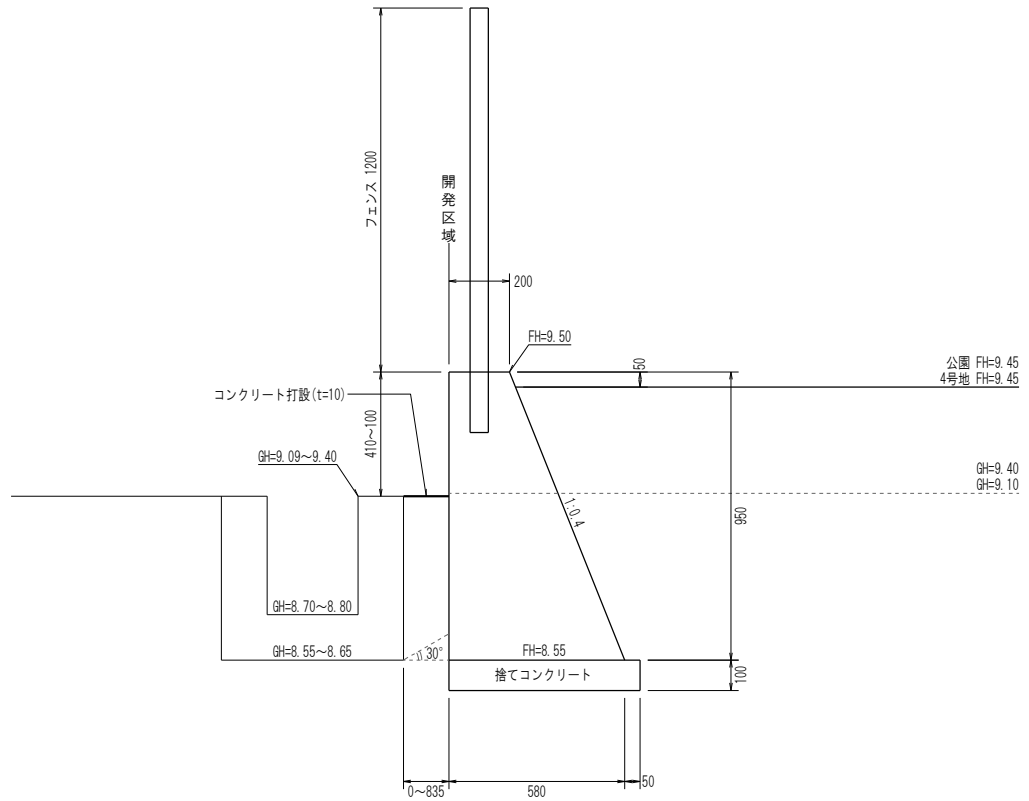
図面名	構造図(L型擁壁⑨)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-#800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

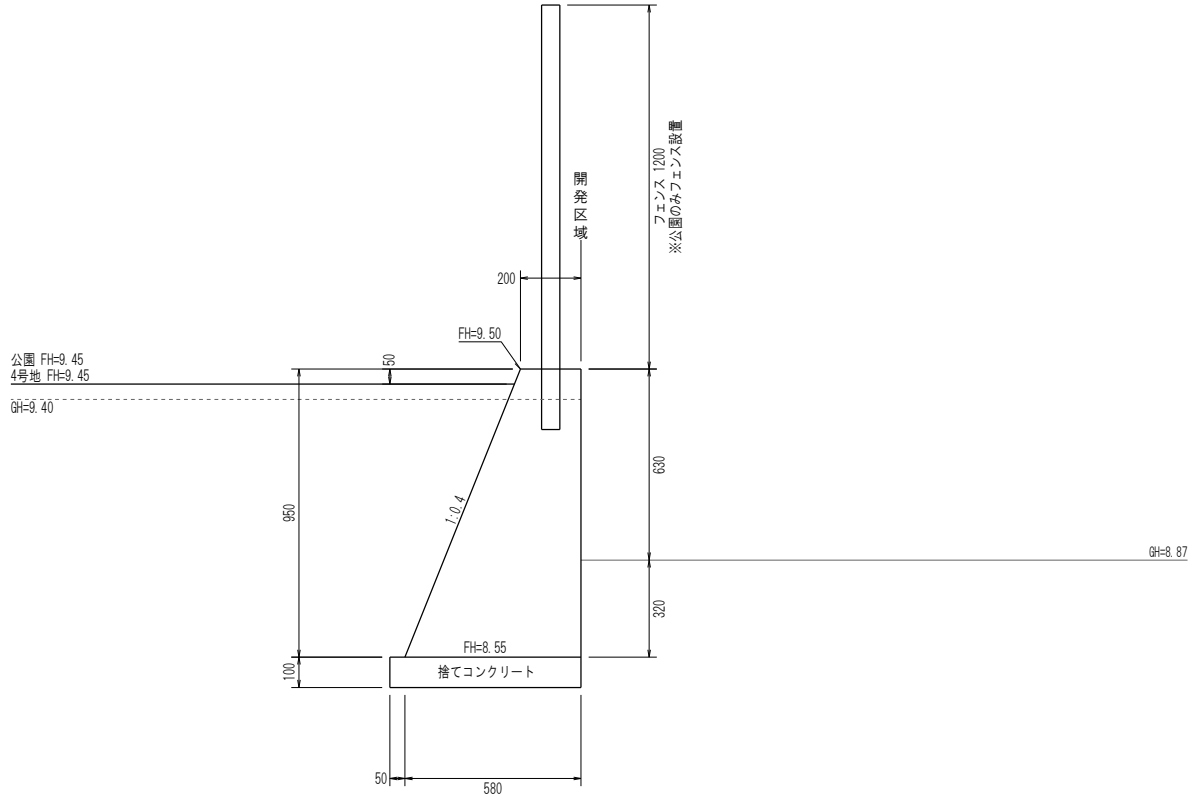
図面名	構造図(L型擁壁⑩)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

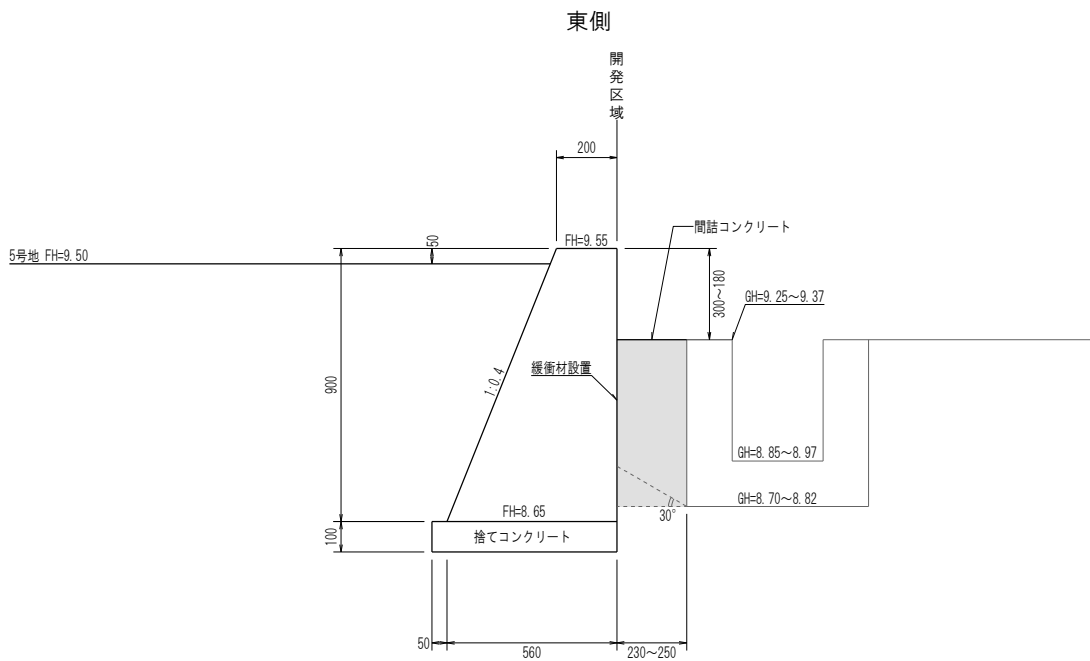
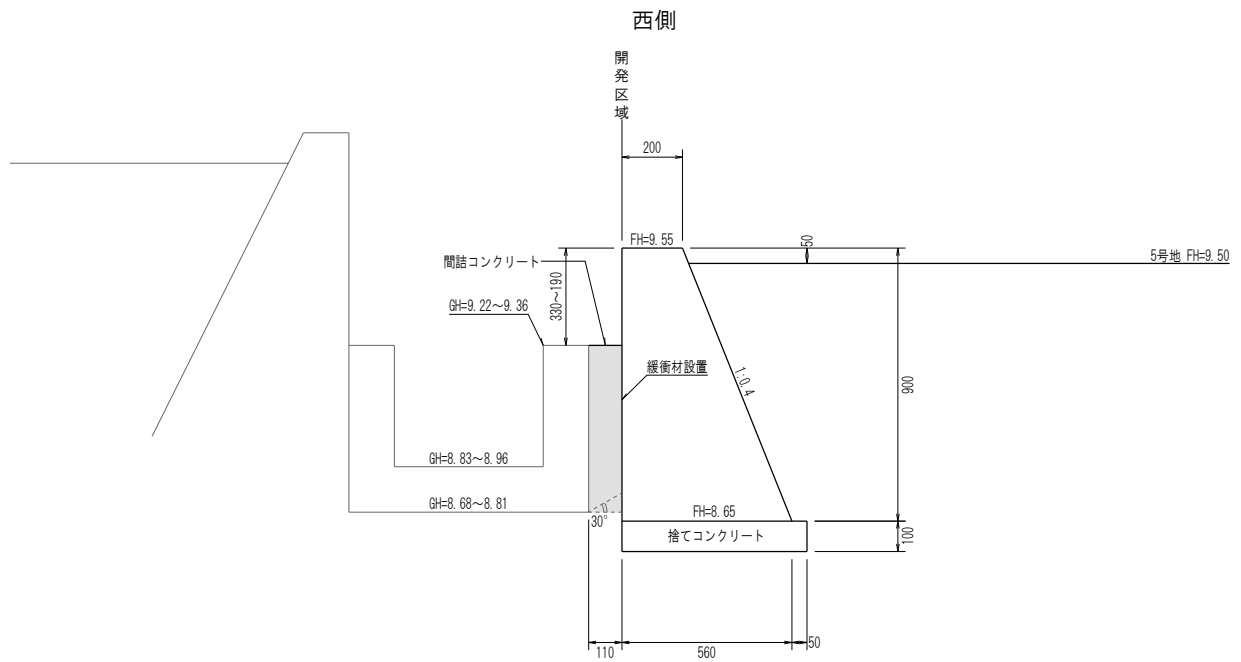
図面名	構造図(重力式擁壁①)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

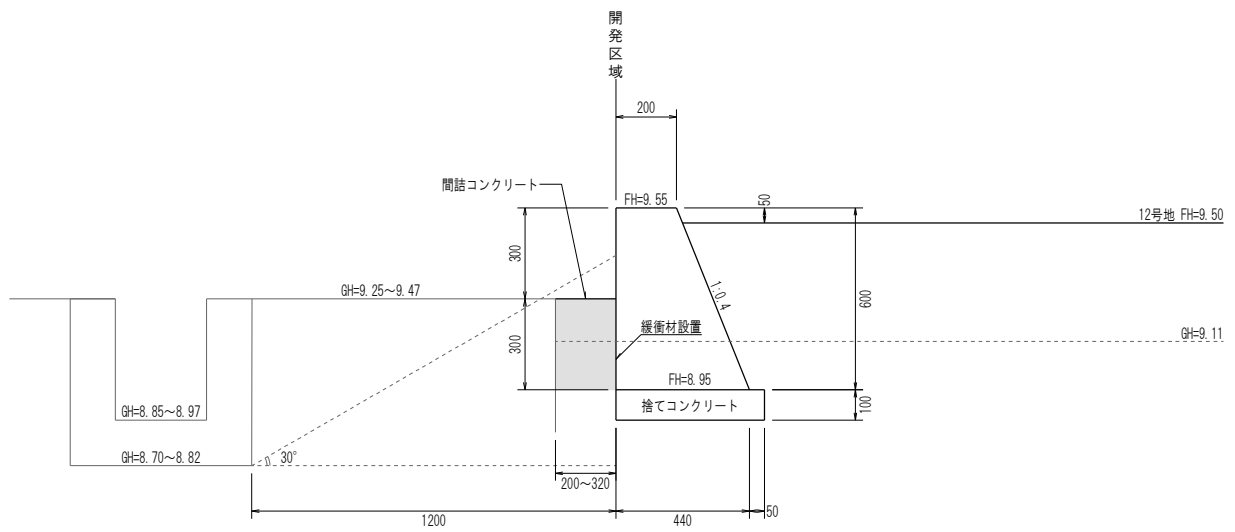
図面名	構造図(重力式擁壁②)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

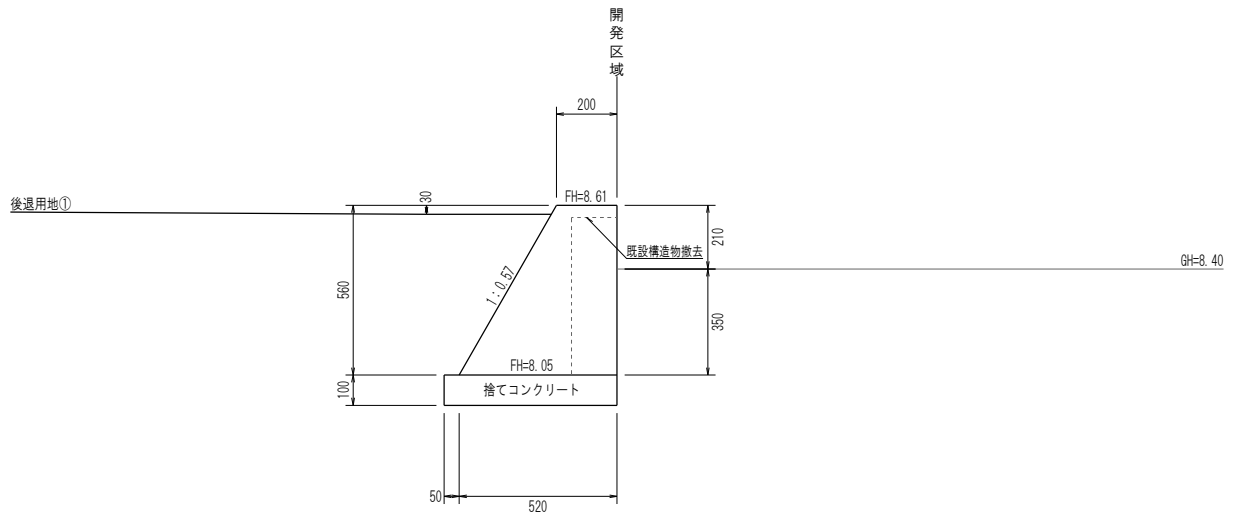
図面名	構造図(重力式擁壁③)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

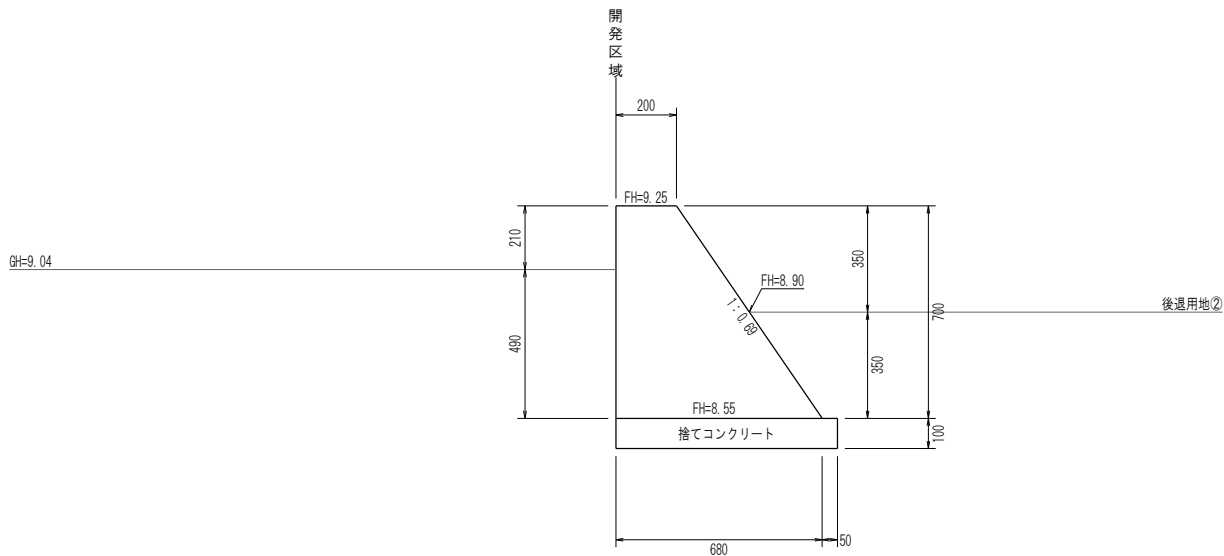
図面名	構造図(重力式擁壁④)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

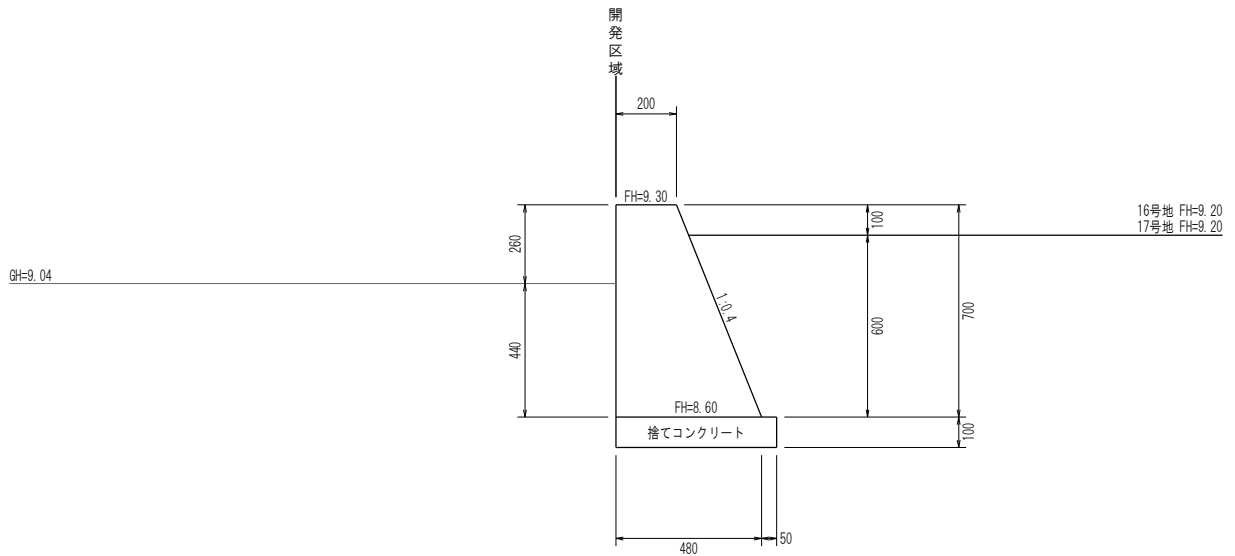
図面名	構造図(重力式擁壁⑤)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

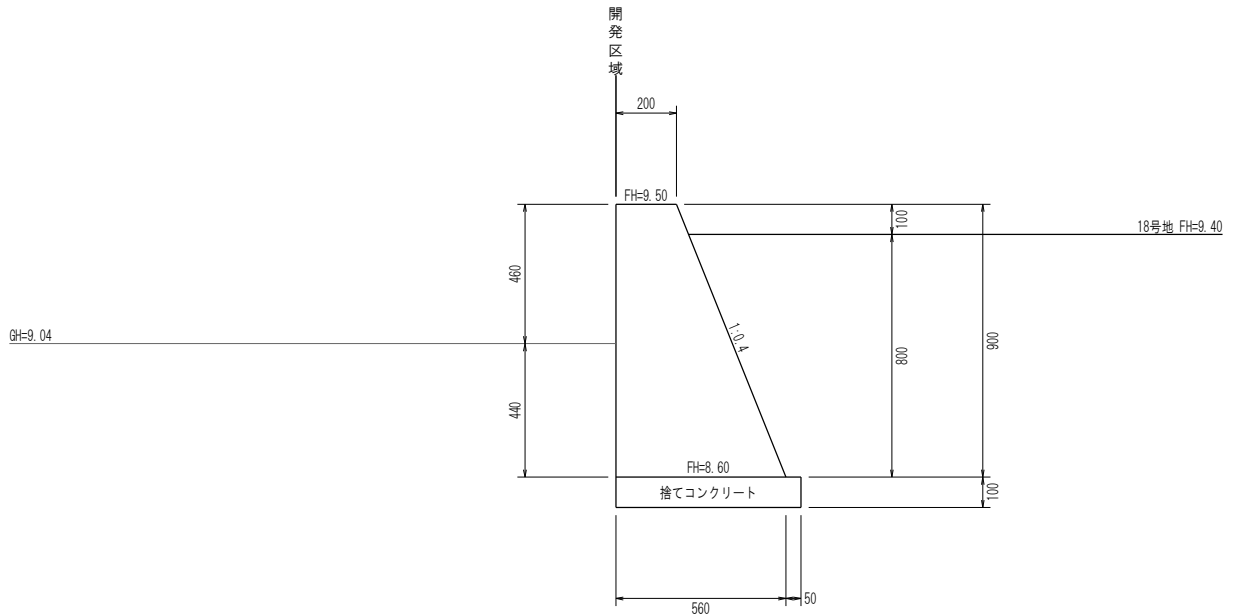
図面名	構造図(重力式擁壁⑥)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

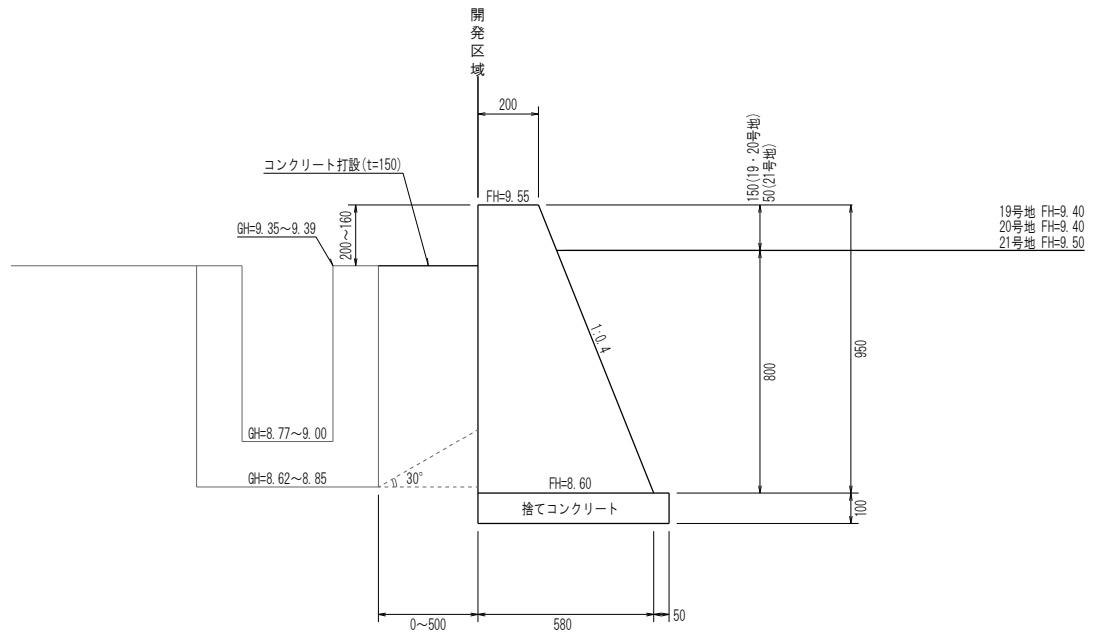
図面名	構造図(重力式擁壁⑦)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

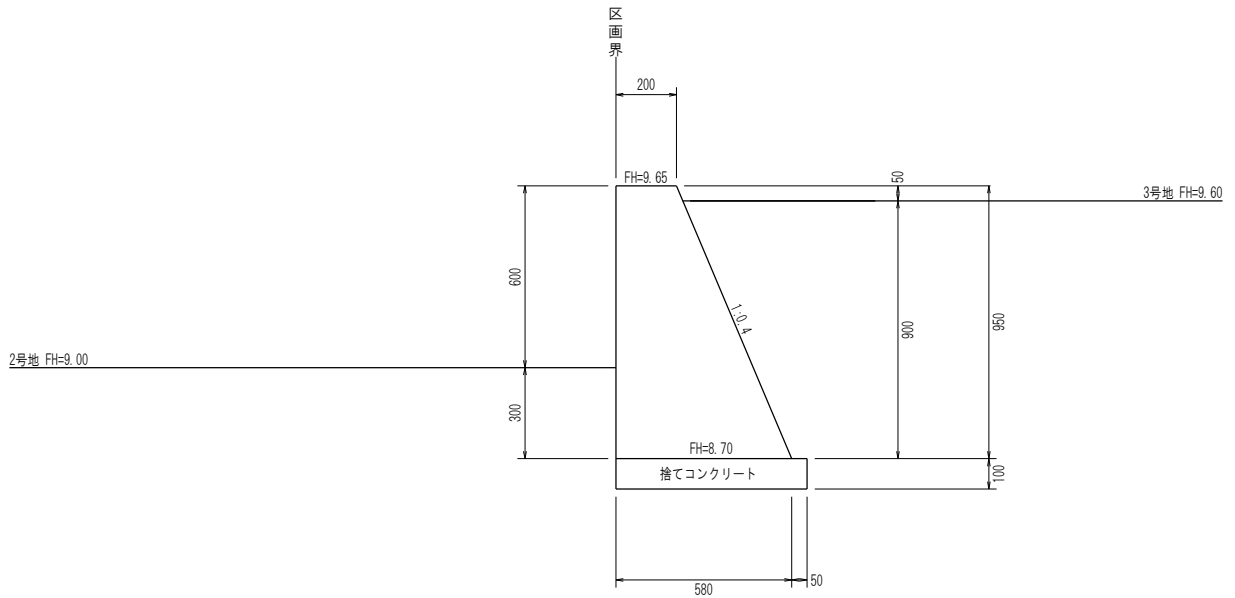
図面名	構造図(重力式擁壁⑧)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(重力式擁壁⑨)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

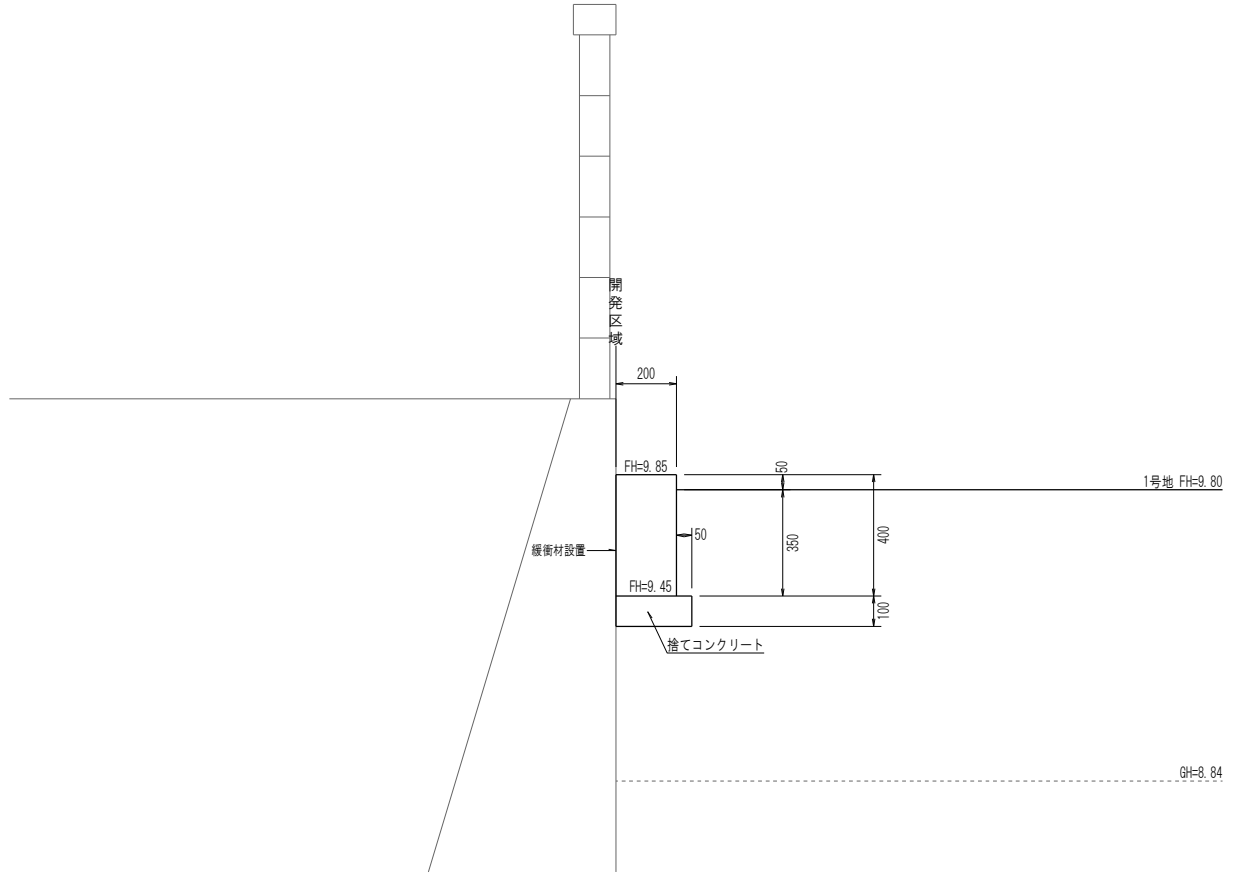


設計条件

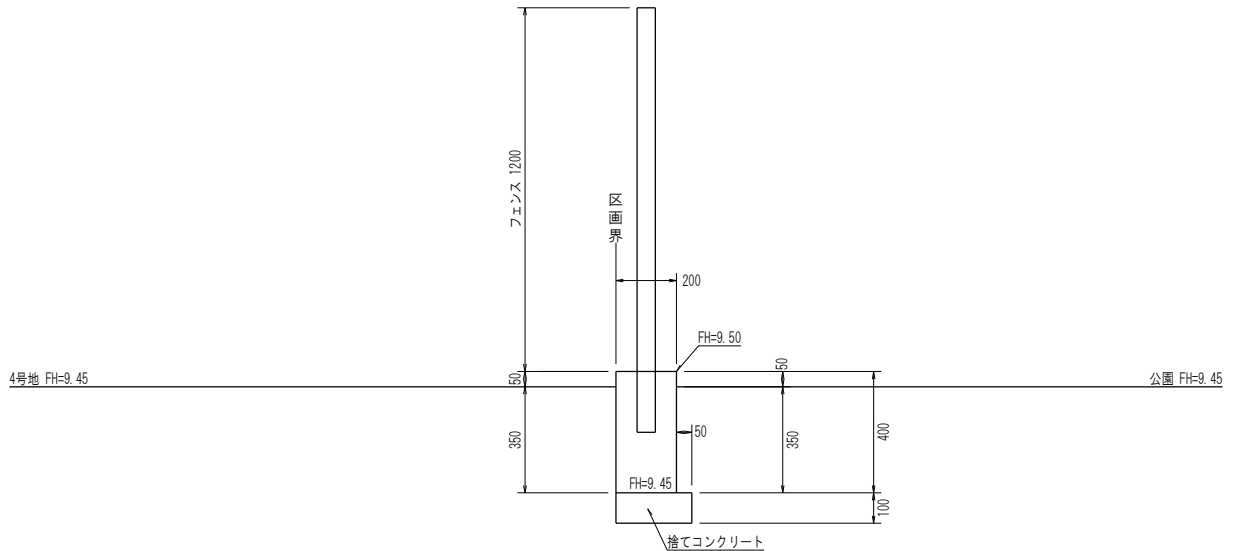
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(重力式擁壁⑩)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート①



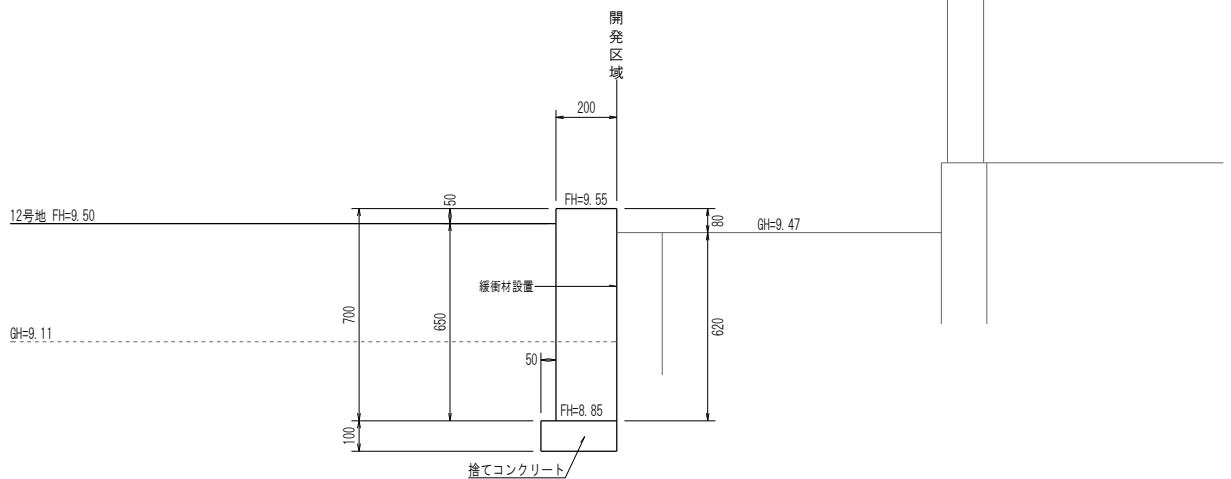
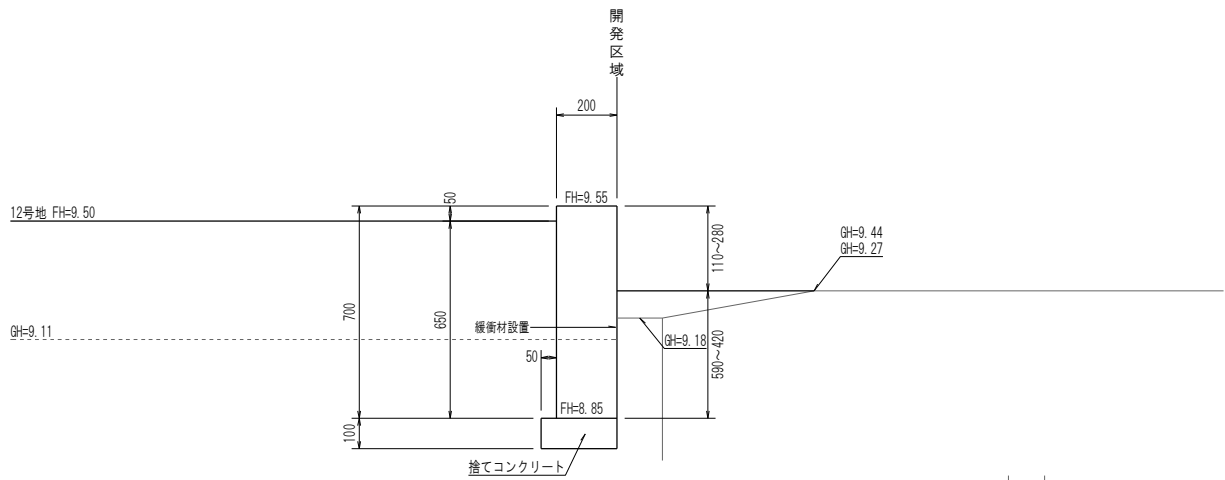
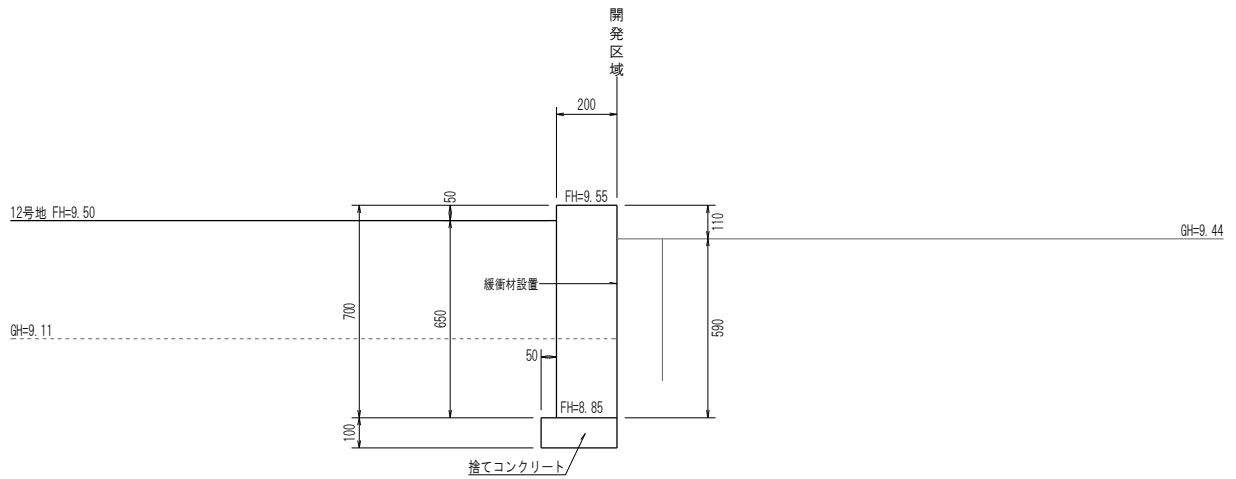
境界コンクリート②



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート①②)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

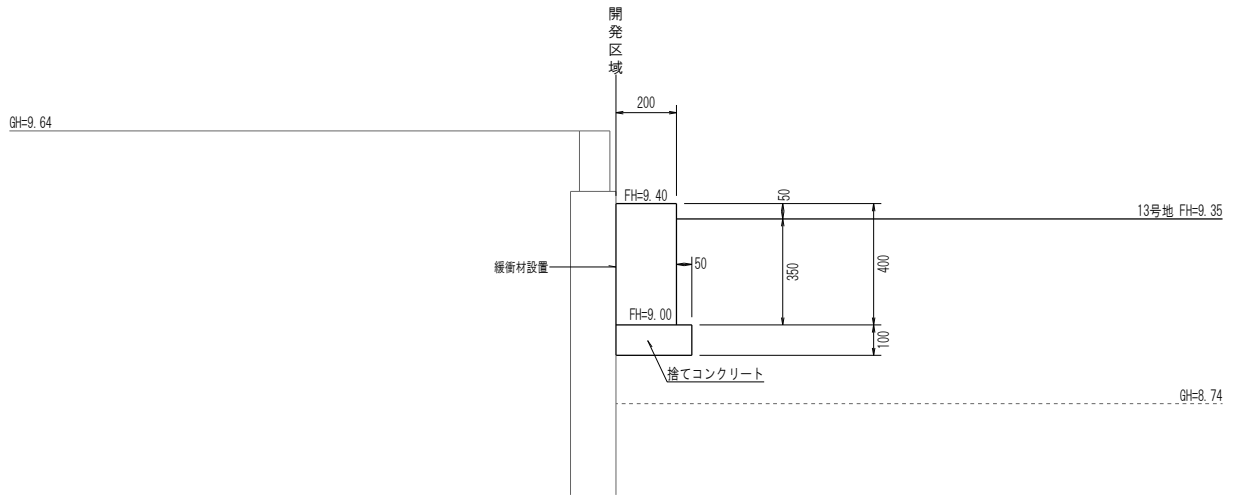


設計条件

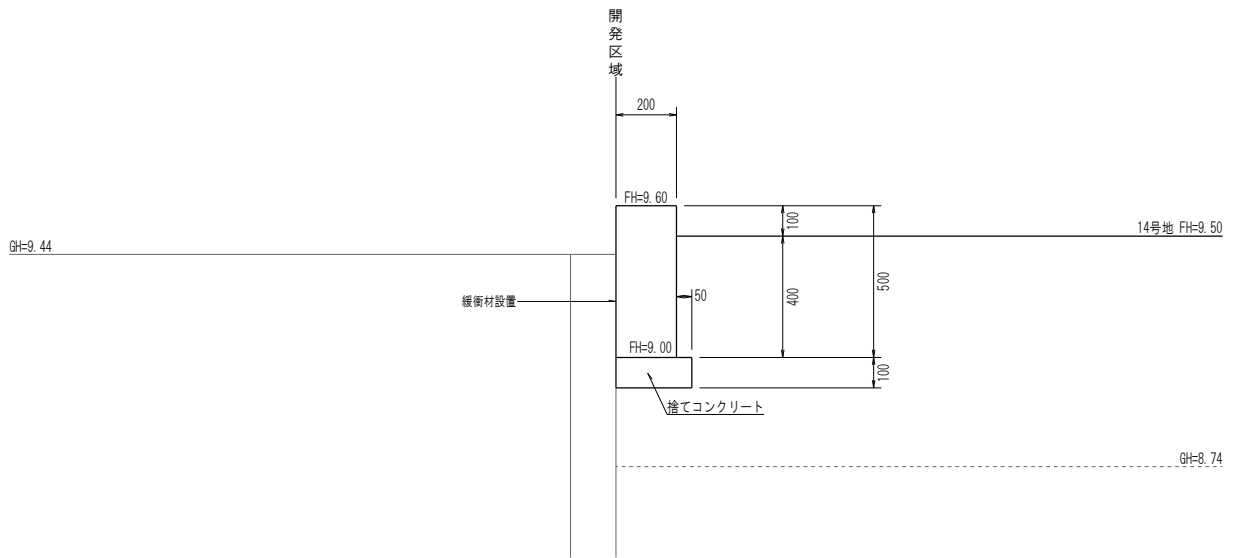
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート③)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート④



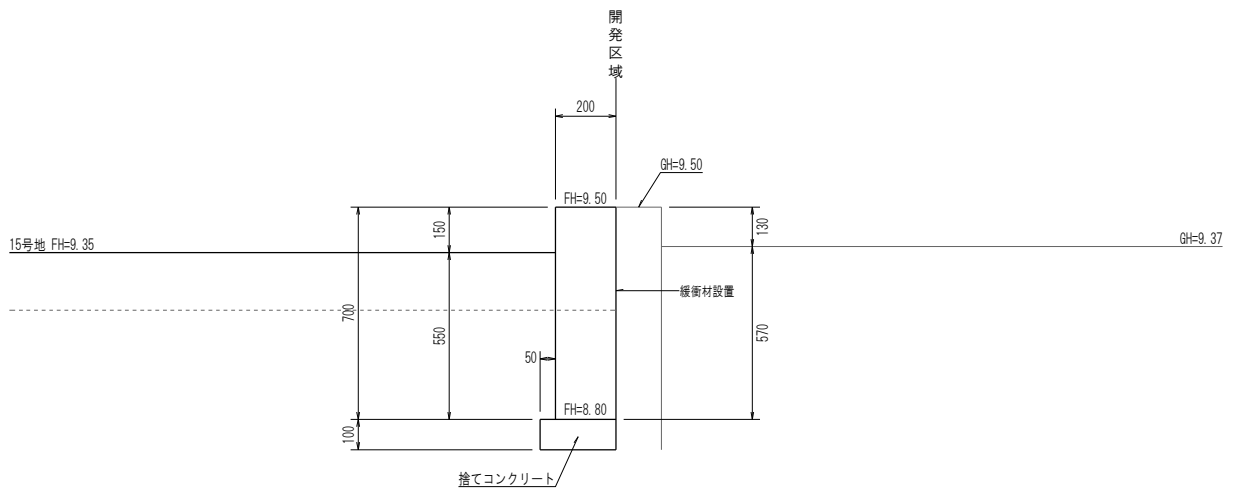
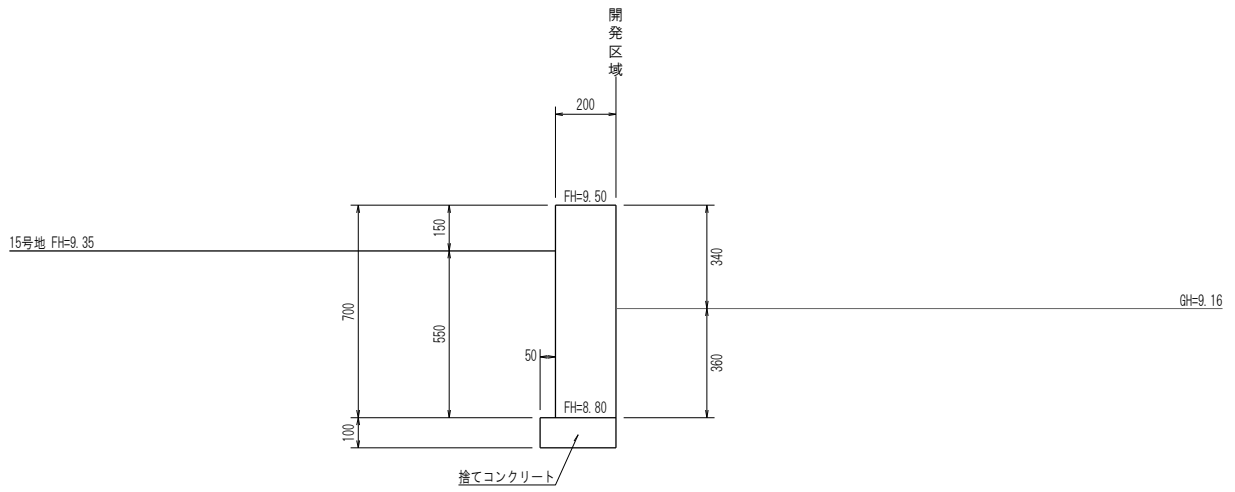
境界コンクリート⑤



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート④⑤)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

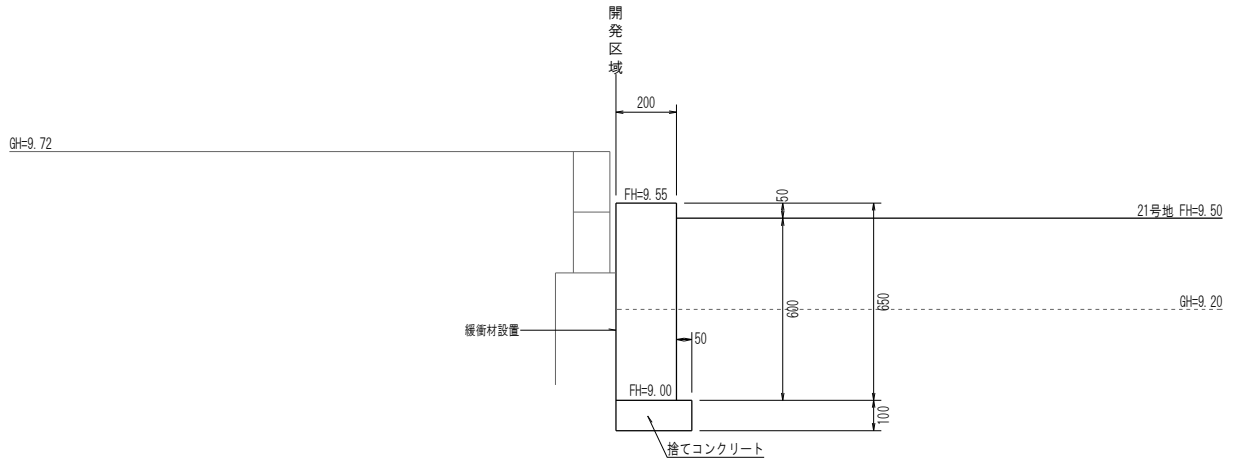


設計条件

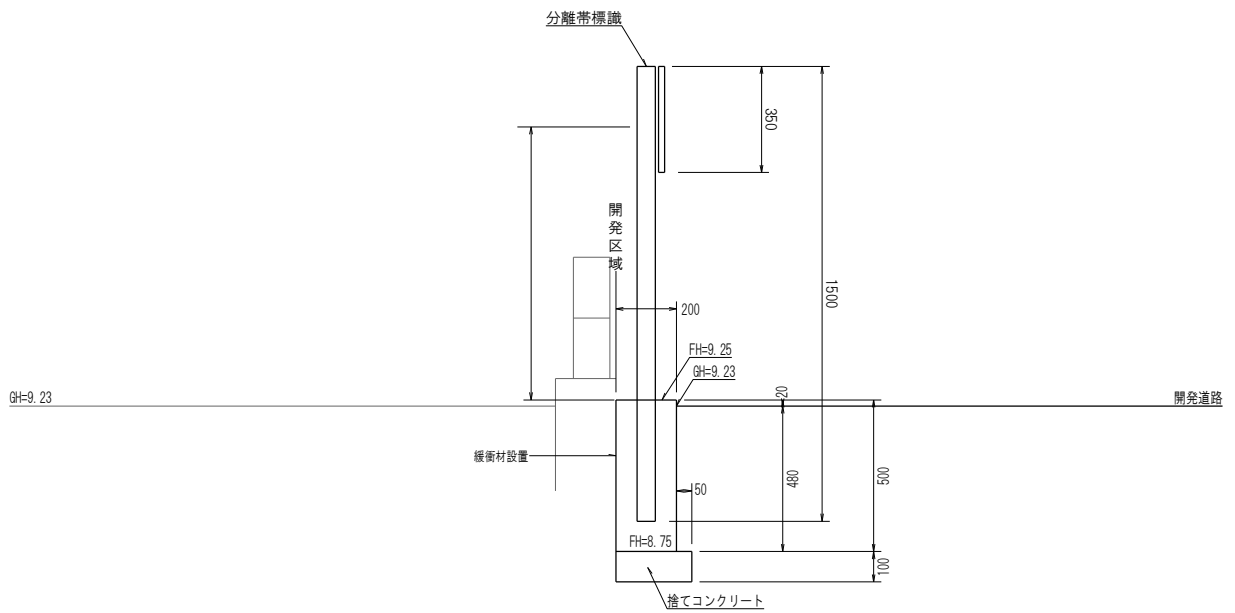
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑥)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑦



境界コンクリート⑧

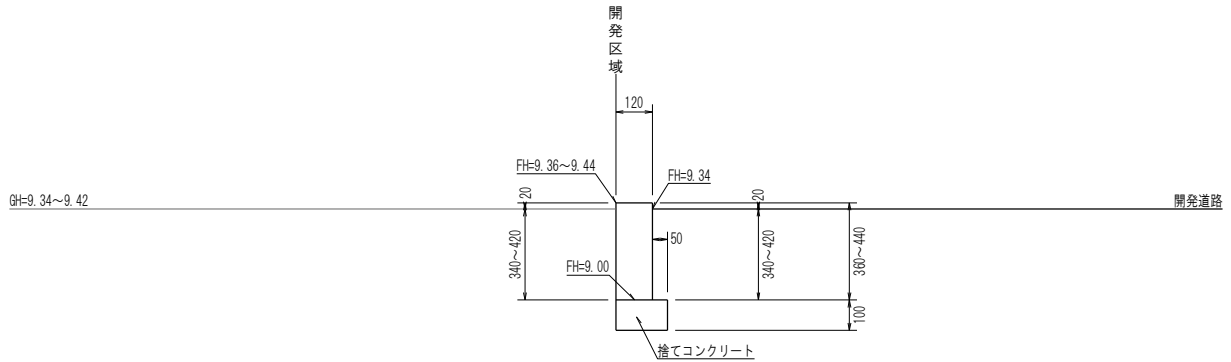


設計条件

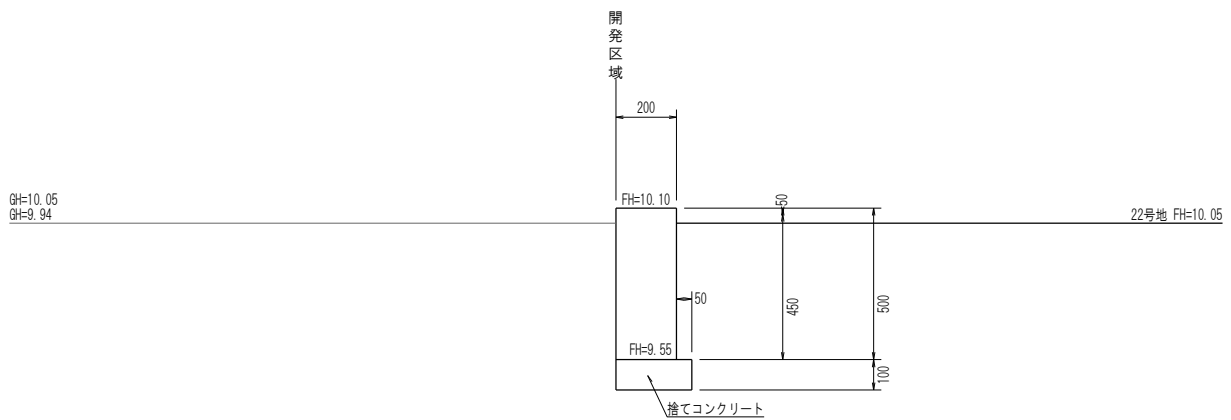
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑦⑧)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑨



境界コンクリート⑩

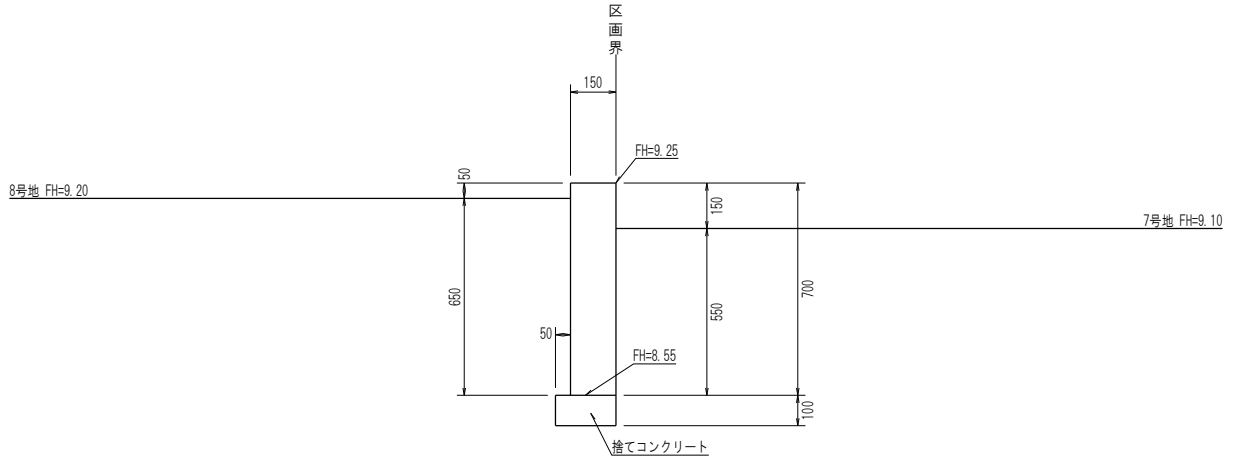


設計条件

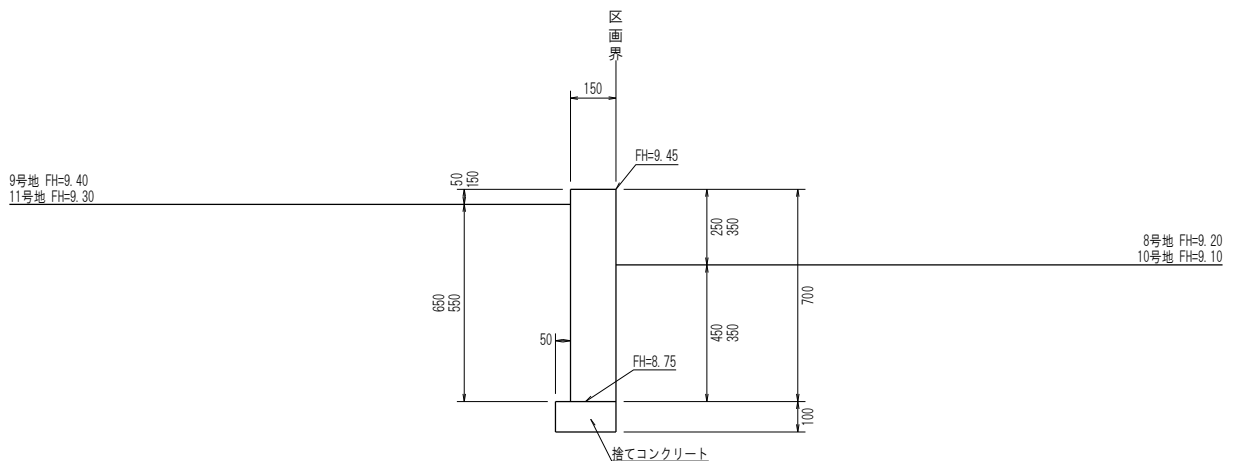
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑨⑩)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑪



境界コンクリート⑫

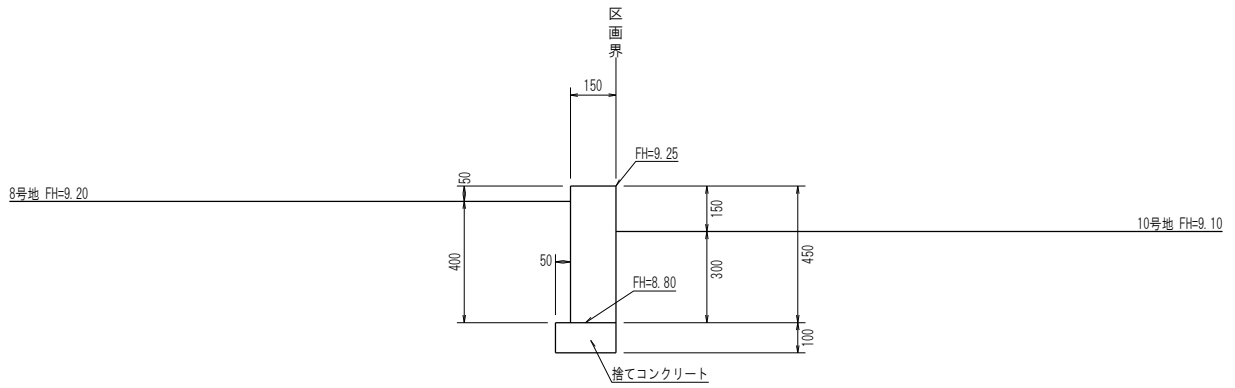


設計条件

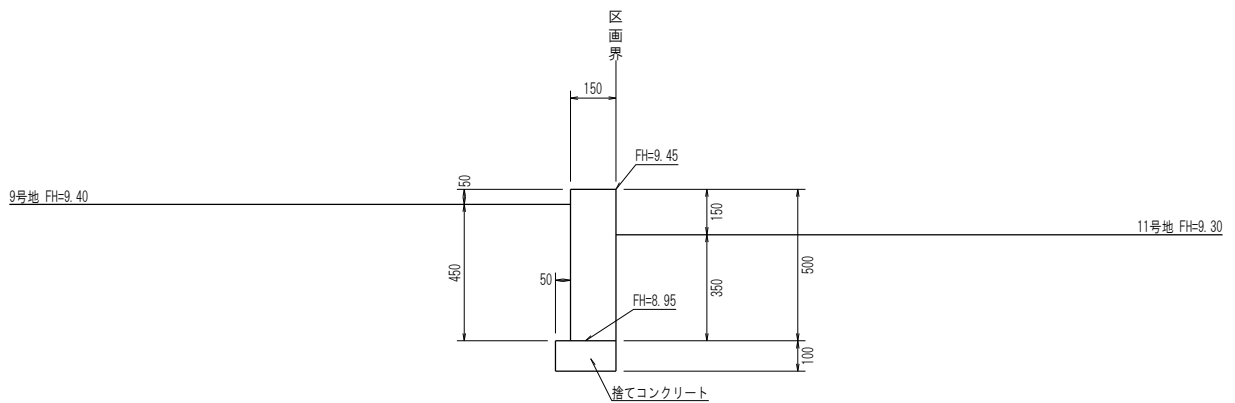
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑪⑫)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑬



境界コンクリート⑭

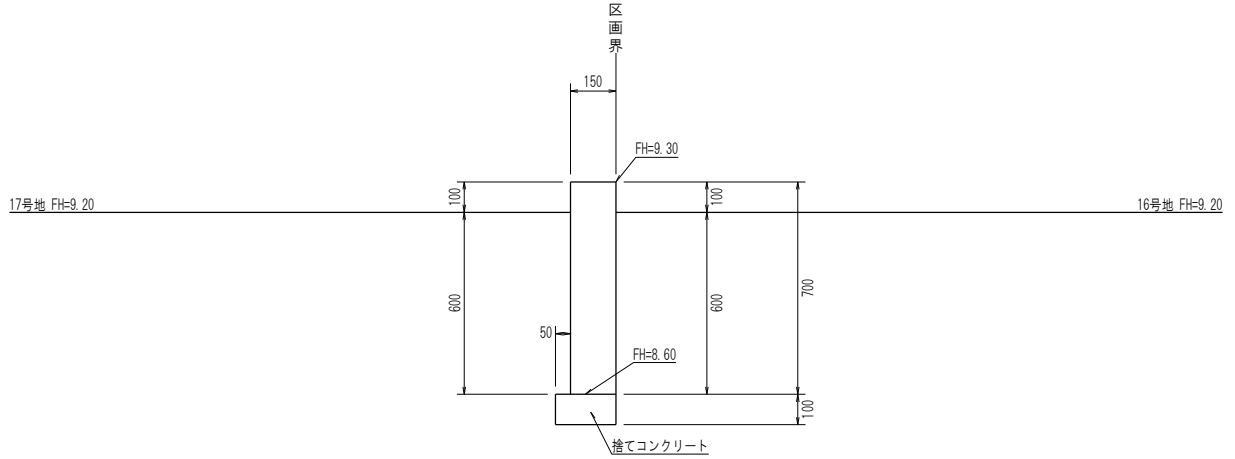


設計条件

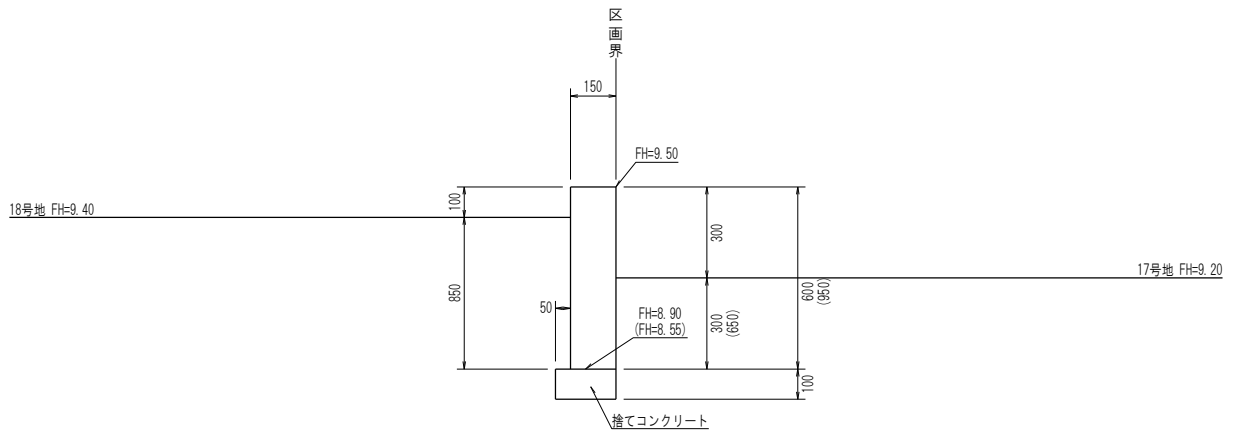
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑬⑭)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑮



境界コンクリート⑯



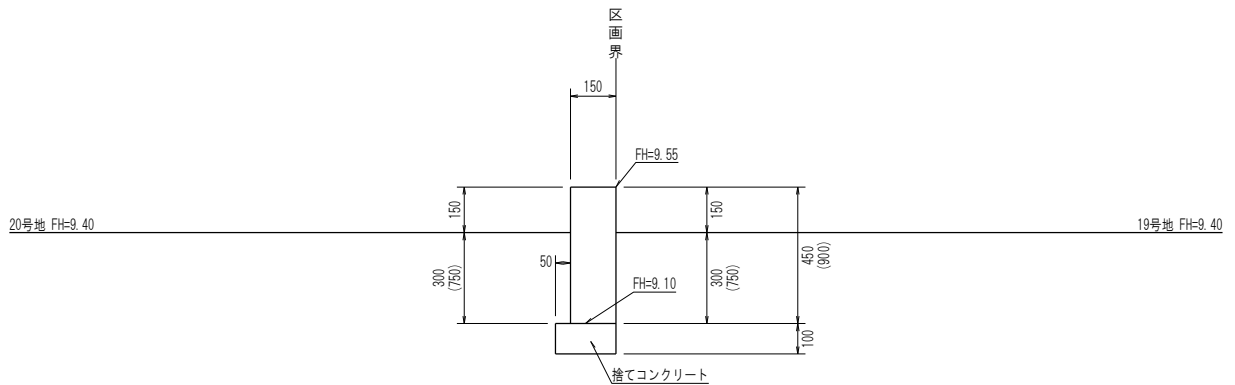
※ () 内の数値については、東側道路から6.00mまでとする。

設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

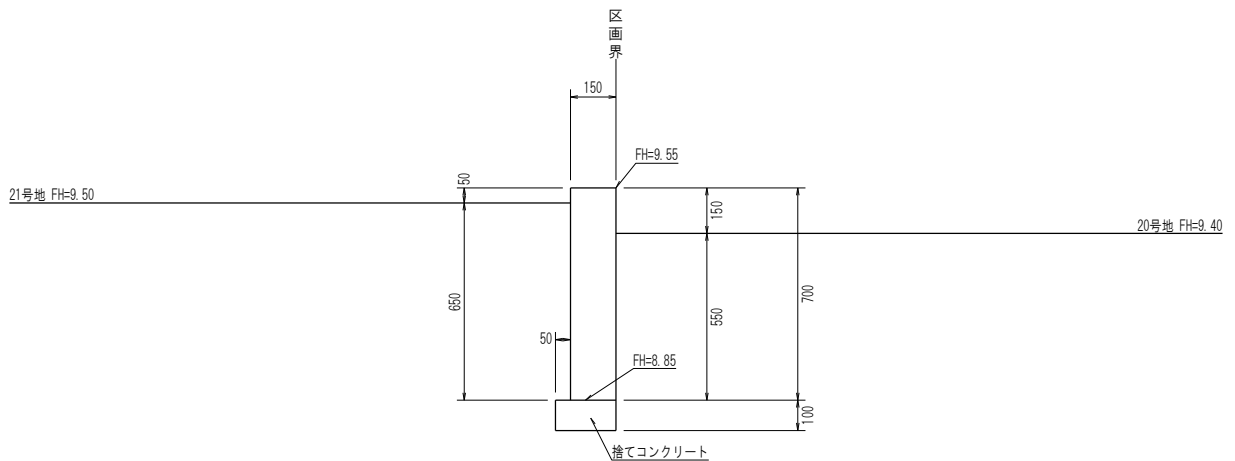
図面名	構造図(境界コンクリート⑮⑯)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑰



※ () 内の数値については、東側道路から6.00mまでとする。

境界コンクリート⑱

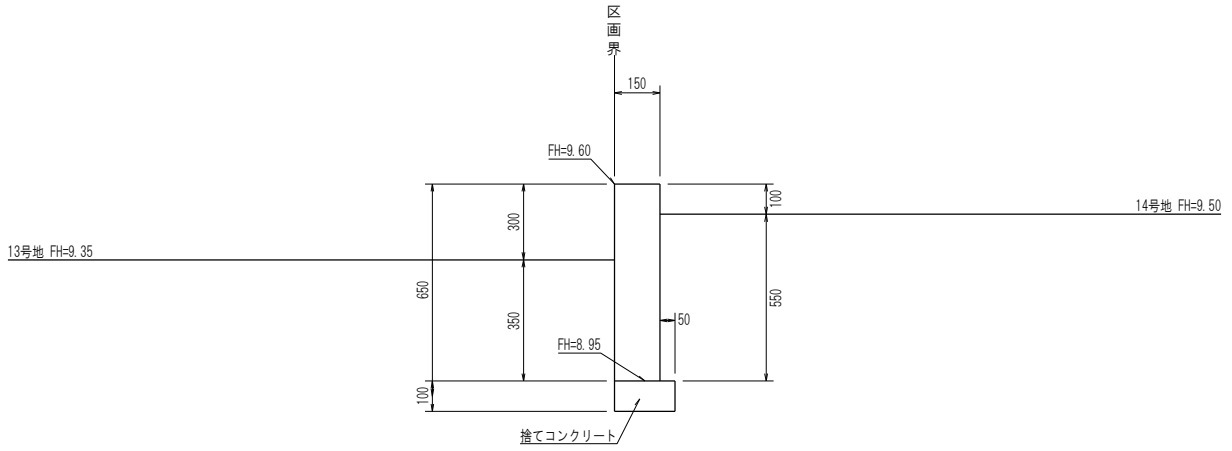


設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑰⑱)
縮尺	1 : 25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

境界コンクリート⑱

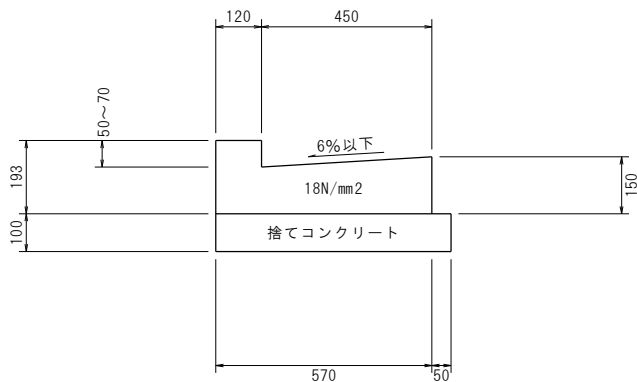


設計条件

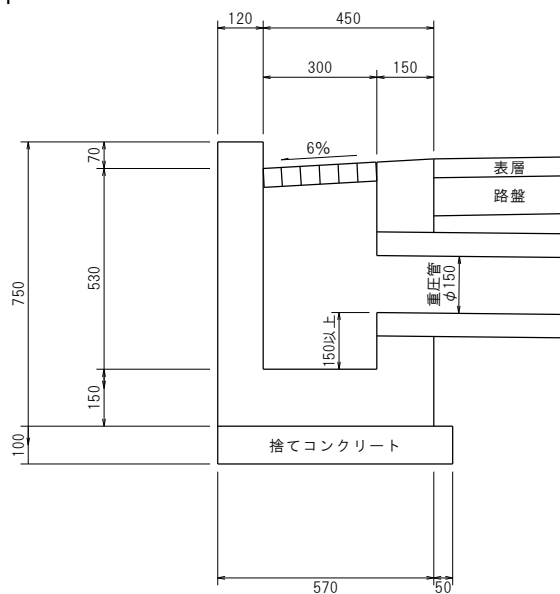
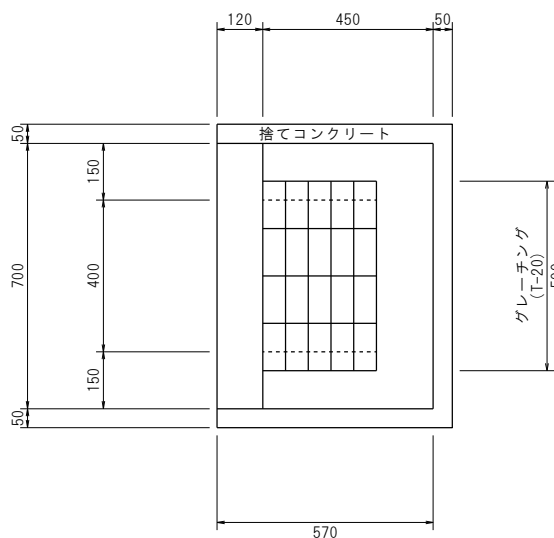
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・無筋コンクリート構造物には施工間隔10m毎に、鉄筋コンクリート構造物では施工間隔20m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・擁壁にブロック塀施工用の差し筋アンカーを設置する場合はD10-@800にて設置する。
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート⑱)
縮尺	1:25
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

L型側溝①



街渠柵



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(L型側溝①・街渠柵)
縮尺	1 : 20
作成年月日	令和7年10月31日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智